



**MORIOKA**  
ROTARY CLUB WEEKLY

第15回例会(10月28日)  
平成28年11月4日発行

クラブ事務所 岩手県盛岡市菜園1丁目10  
川徳デパート内  
例 会 場 同上 TEL(651)1111(代)  
例 会 日 毎週金曜日12時30分～

会 長 駒 木 進  
幹 事 海野 尚  
会 報 熊谷 隆司  
クラブ事務局 TEL(653)5682  
FAX(653)5622

ROTARY SERVING HUMANITY. '人類に奉仕するロータリー'…… ジョンF ジャーム

会友卓話



『意外と知られていない南部さんの系譜』

会友  
下山 寛様

卓話の機会を戴き有難うございます。

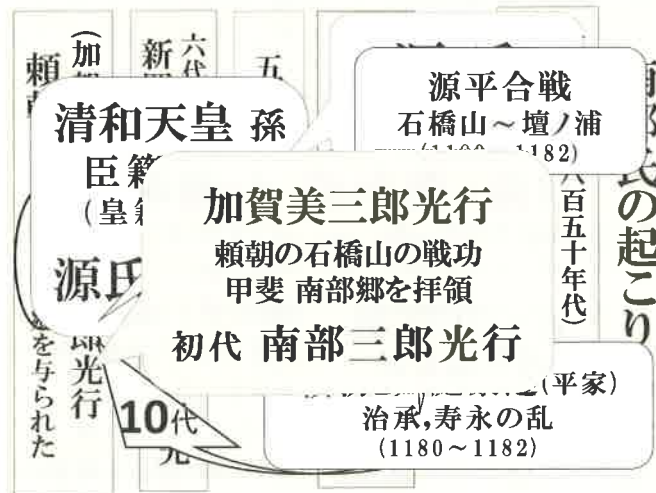
盛岡の町は400年の歴史を重ねて町の人達と南部さんで作り上げてきた町ですが、まだ知られていない歴史が沢山あります。私はかねがね、東北の名門盛岡ロータリーの方達に、盛岡の町に関わる歴史を少しでも知ってい戴きたいと思っています。(押し売りの傾向もあります)今日はその一つで余り知られていない「南部さんの系譜」について触れて見たいと思います。

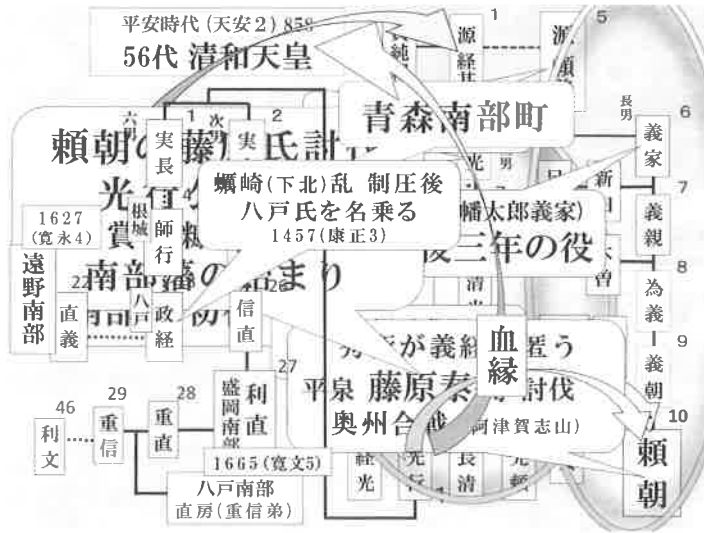
実は「南部さんの系譜」については数年前に、平井滋さんの御尊父の平井冽さんから生前に、南部さんの系譜で分かり難い部分があるので整理をして卓話で話をしてくれないかと宿題を頂

戴していました。平井さんの言われた中身までは時間の都合で行きつかないと思いますが、遅蒔きながら平井冽さんを偲びながら、「南部さんの系譜」について宿題を卓話させて戴きます。

それから、以前卓話で27代利直公以来、南部家では前田利家の「利」を代々諱するようになったとお話ししましたが、殿様の中には「利」のつかない殿様もおります。

南部さんでは嫡男に「利」を付けるようにしているけれども、嫡男の殿様に不幸などがあった場合には次男、兄弟などがその跡を継ぎますので、その時には「利」の付かない殿様もでて来ますのでお知りおきください。





- 南部氏の「青森南部町入る以前の系譜」
- 南部氏の江戸時代の「格式と序列」

最初に「南部氏の起源」について触れてみます。南部さんの系図については、先祖は“甲斐源氏”なそうだと知ってはいますが…それから先はあまり知られてないと思います。今日はこの事について少し触れて見たいと思います。

甲斐源氏とは平安時代（850年代）の56代清和天皇の第6皇子に貞純親王と言う皇太子が居りましたが、その皇太子の皇子経基が朝廷から源氏の姓を賜って臣籍降下したのが源氏の始まりです。……したがって初代経基は清和天皇の孫にあたります。

また臣籍降下とは皇族が皇籍を捨てて民間におりる事で……今でいう皇籍離脱（昭和22年以降）の事です。

当時臣籍降下した皇族は多く居りますが、その多くが源氏を名乗ったようです。その中で清和天皇の孫の経基から臣籍降下したのが清和源氏です。（臣籍降下の皇族は外にも藤原・平・橘等の氏族もあります）

臣籍降下した源氏は外にも大凡21もの流れがあったと言われており、その21の流れが

た武家源氏と公家源氏に分かれています。（嵯峨、仁明、文徳、清和、陽成、光孝、宇多、醍醐、村上、冷泉、花山、三条、後白河、順徳、深草、正親町…など）

臣籍降下した経基から5代目に源頼義がいて頼義は武勇に優れ、朝廷の命で奥羽安倍氏の反乱（前九年役）を鎮圧するなどをして朝廷の信頼が厚く、それによって源氏の地位を高めて“河内源氏の祖”と言われております。

経基から数えて10代目に加賀美光行が居りましたが、光行は加賀美遠光（源義光の孫源清光の四男）の三男で、永承3年（1180）頃から始まった源平合戦の“石橋山の戦い”で頼朝に与して戦い、その時の戦功で甲斐南部牧（山梨県南部町）を与えられて南部姓を称したのが南部氏の始まりとされています。

この時の石橋山の戦いとは源平合戦の中の一つですが、私どもは源平合戦と言うとすぐに“壇ノ浦の戦い”を思い出しますが、調べて見ると源平合戦とは永承の乱（1180）から始まり寿永の乱（1182）の壇ノ浦の戦いまでの一連の合戦の事を言うようです。凡そ30位の合戦があって最後が壇ノ浦の戦いで、ここで源氏が勝利をして平家が滅亡し源氏の時代に入ったわけです。

…石橋山（神奈川小田原） 壇ノ浦（下関）…  
 前のスライドの清和天皇からの流れを家系図に書き替えて少し詳しく説明します。

平安時代の858年に56代清和天皇の皇子（息子）貞純親王がいて、その皇子の経基が源氏の姓を朝廷からもらって皇籍離脱をして清和源氏の初代となります。

清和源氏5代の頼義には、義家（頼義1男）と義光（頼義3男）がおります。

義光は所謂森羅三郎義光で、甲斐源氏の祖と言われております。義光の子の義清から武田信玄がわかれており、9代の遠光の子の10代目に南部の祖の三郎光行がおります。

10代目の南部光行は、頼朝と年代も近く頼朝の御家人（家臣）として重鎮をなしています。系図から見てもお分かりのように頼朝とは血筋で繋がっています。また光行の姉には大弐局が居り、頼朝の嫡男の頼家の乳母を仕えるほどで、一族と頼朝の間には大きな信頼があったようです。大弐局の名を調べましたが今のところ不明です。6代目森羅三郎義光からつながるグループを甲斐源氏と呼んでいます。

右側の義家の方は10代目に源頼朝に繋がり頼朝が鎌倉幕府を起こしています。8代義光の子に義重がいて新田義貞、足利義光へつながり

次の義親からは木曾義仲がわかれています。9代義朝の子に頼朝と牛若丸義経がおり、このグループが源氏の嫡流となり所謂河内源氏のグループとなっています。

河内源氏の5代の頼義は、前九年の役で年貢を納めずに勢力を拡大していた安倍貞任を朝廷の命で滅ぼしており、この頼義が源氏の勢力を拡大して源氏の祖とも言われています。

6代目の義家が秋田の清原一族の内紛の時に、清衡に加勢をして清原一族を滅亡させた義家で有名な八幡太郎義家です。

河内源氏の10代目の頼朝が平泉4代藤原泰衡を打つときに南部光行が参戦し、その時の恩賞として青森糠部（現在の南部町近辺）を拝領し、その後脈々と幕末まで続いた南部藩が誕生したわけです。

光行は甲斐の国（現山梨南部町）の南部郷に続いて糠部も拝領したことになります。頼朝の平泉藤原氏との奥州合戦は福島の阿津賀志山（国見インター）で争いましたが、非常に規模の大きい豪が二重三重に掘られてあり、鎌倉初期の頼朝と藤原氏の戦いを偲ぶことが出来ます。

次に全国の大名の中での南部氏（藩）の序列について触れてみます。

**国主大名の序列** (江戸時代前期)

**多くの藩**  
 国替等で 城主が入れ替わり  
 藩主が 同じ場所で 存続した藩  
**南部藩 と 島津藩 (薩摩)**

鎌倉幕末で「藩」

家系 主(器) 広間)

鎌倉幕末で「藩」

惟宗氏子孫  
(渡来系氏族)

南部氏 (1189~1867) のみ

伊勢藤堂家(32万石) 大広間 | 大和柳沢家(15万石) 帝鑑

全国の大名家は国主（大領地）を筆頭に、準国主（国主に準ずる領地）、城主（城持ち）、準城主（城持に準ずる）、陣屋（小大名）、居館（無城）などの序列があったようです。

しかし序列は領地の大きさだけでは無く幕府への貢献度とか、朝廷からの官位も影響していたようです。また参勤交代などで江戸城に登城した時の控えの間（詰め所）も序列によって異なっていました。

スライドでお分かりの様に南部さんは序列では国主で、国主の中でも上位から20番に位をして堂々たる大名でした。南部氏の歴代城主の政治力と、中でも大きいのは豊臣秀吉の時に金沢の加賀前田利家について秀吉から南部七郡の領土安定の朱印状を得たことが後々に大きく影

響していると考えられます。また徳川の時代に入っても利家の後ろ盾もあって何回か藩滅亡の危機を乗り越えてきた政治力もあったと考えられます。

初代光行公が鎌倉時代に糠部に入部し城の場所は南部町、三戸、盛岡、と変わったものの同じ領地内で藩政を続けたのは全国でも南部藩と九州の島津藩だけです。ただ二つの藩の違いは南部藩は朝廷から臣籍降下した武家ですが、島津藩（薩摩藩）の方は頼朝から薩摩・大隅地方の守護職を命じられてはいるものの、渡来系武家で家格の違いがあります。南部さんはスライドで説明の様にように多くの大名（約270家中）の中でも極めて上位の家格にあります。

例会報告

第15回例会  
平成28年10月28日(金)

12時30分 開会点鐘

- ・司会 駒木 進会長
- ・ソング 手に手つないで
- ・10月の歌 斉唱（紅葉（もみじ））
- ・ゲスト 下山 寛様（会友）
- ・会長報告 駒木 進会長
- ・誕生祝 岡村 弥君。
- ・結婚祝 岡村 弥君。
- ・幹事報告 海野 尚幹事

【他クラブ例会変更のお知らせ】

- 盛岡北R.C.=11月16日(水)は、秋の夜の親睦会のため18:00～時間変更
- 盛岡西R.C.=11月17日(木)は、20

日(日)地区大会前に開催のため変更

- 盛岡東R.C.=11月14日(月)は、夜例会に変更のため18:30～「すべいん倶楽部」。11月21日(月)は、通常夜例会 地区大会へ振替のため休会

【ニコニコBOX】

- ◆近藤 駿君…突然、岩手県警から親展の手紙が来ました。何も悪いことをした覚えはなかったもののドキッとしました。遂に高齢者講習の案内が来ました。まだ70歳になっていませんから誕生日の1カ月前に書き換えをしなければ講習を受けなくても良いじゃないかとか、日曜日に講習をしている教習所はないがどうすればいい等警察に文句を付けましたが体よくあしらわれました。そう言えばこの

頃テレビに向かって怒っている自分がいることに気がつきました。ん〜これが年取ったことかな。こうなったからには来シーズンからシルバーマークからティーショットするぞ。

- ◆佐々木憲明君…23日ゴルフ練習会にて、南部杯に続いて優勝させて頂きました。かくしホールに恵まれたラッキーなことでした。11月13日には、クラブ納めの会を開く予定ですので、会員の皆様の参加をお待ちしていますのでよろしくお願い致します。

- メークアップ  
盛岡北R.C.=白石君。盛岡西R.C.=岩野君。盛岡中央R.C.=岡本君。クラブ委員会=荒川・藤田・平野・飯塚・勝・川村(勝)・工藤(幸)・三田・岡村・佐藤(重)・吉田(育)・栗田君。

出席報告 会員数 /74名 出席数 /43名 出席率 /58.9% 前々回 /74%

プログラムの  
お知らせ

- ・11月 4日(金) ゲスト卓話 両川いずみ様  
(認定NPO法人いわて子育てネット 副理事長)
- 11日(金) ゲスト卓話 吉田大信様 (祇陀寺 住職)
- 18日(金) 新入会員卓話 大内 敦 会員
- 25日(金) ゲスト卓話 藤村七美 様  
(CO.CORO サポート代表)

- 本号編集担当 / 福田 荘介
- 次号編集担当 / 檜崎 憲二